

ヒグマ活動期運用結果について（詳細）

資料 2 - 3

1. 実施概要

- 大ルート、小ルートともに昨年度からのツアー出発時間等の変更点はない。
- 小ルートは 3 年目の運用となった。これまでのツアー出発時間と期間は下表のとおり。
- 今年度も当日受付カウンターを開設し小ルート受付、大ルートの当日受付に対応した。

表 1. 小ルート運用の変遷

	小ルート	
	ツアー出発時間	運用期間
平成 26 年	10:00、12:00、14:00、16:00	6・7 月のみ
平成 27 年	9:00※ ¹ 、11:00、13:30、16:00	ヒグマ活動期全期間
平成 28 年		

※1 大ルートと同時出発

2. 実施結果

1) 利用状況の変化

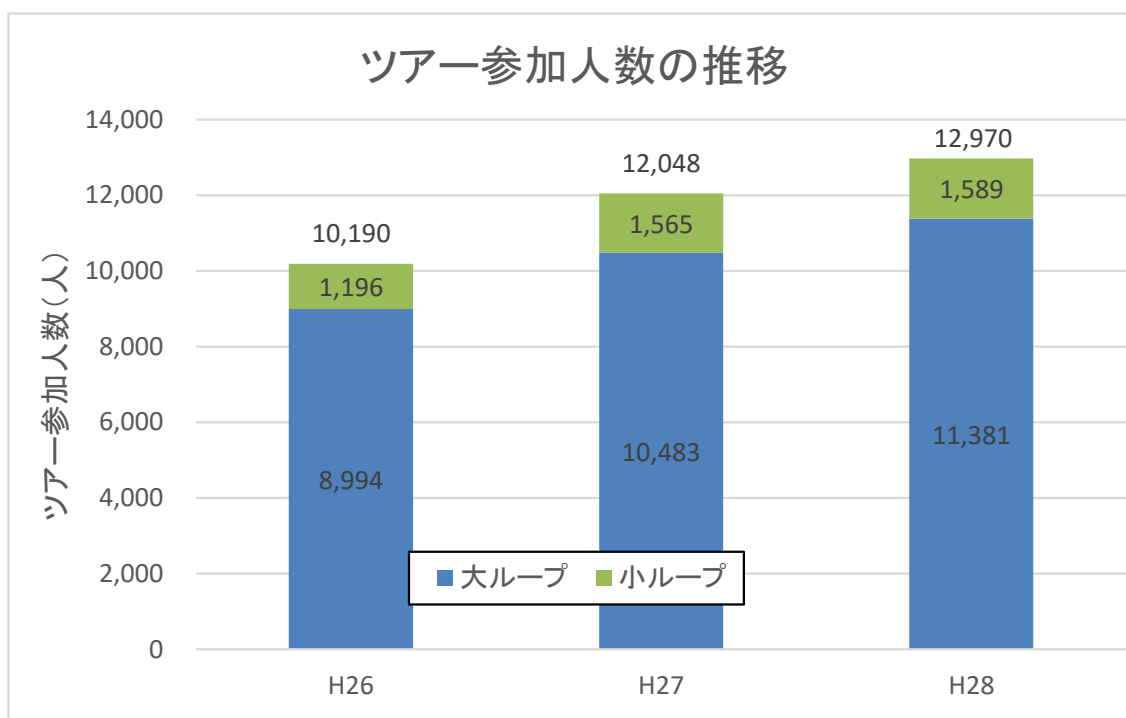


図 1. ツアー参加人数の推移

- ツアー催行回数は 1,866 回と昨年度の 1,752 回から 7% 増加。
- 参加人数ベース（登録引率者の立入りを除く）においても、12,970 人と昨年度の 12,048 人から 8% 増加しており、過去最高の立ち入り実績を更新。

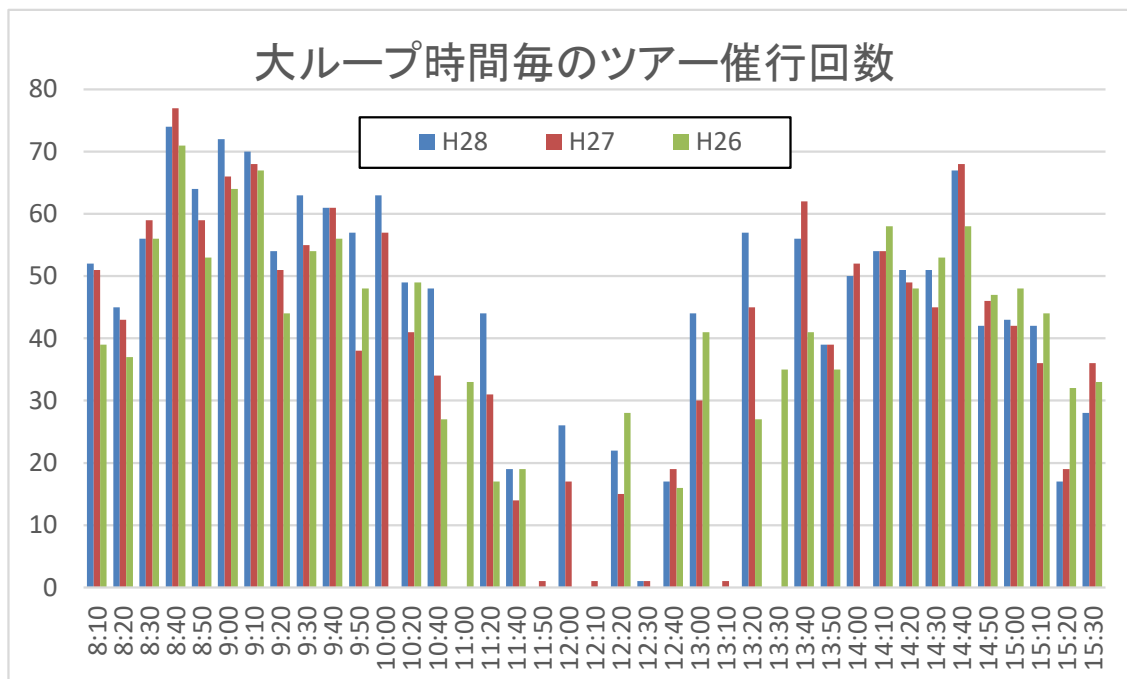


図 2. 大ループツアーの時間毎のツアー催行回数

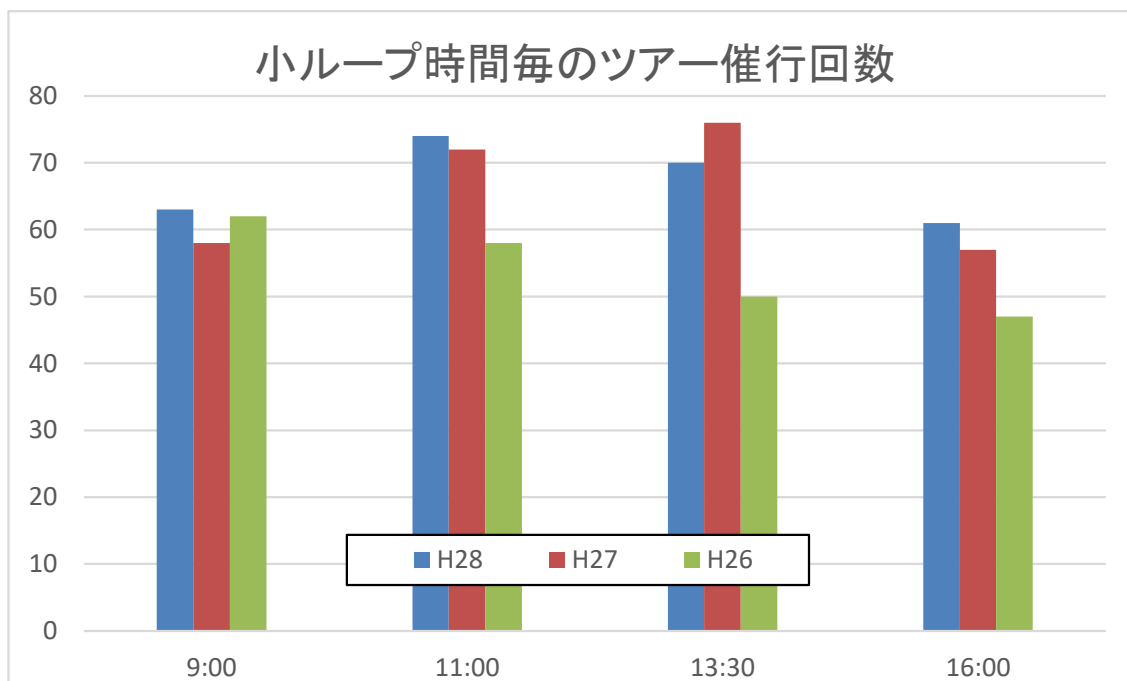


図 3. 小ループツアーの時間毎のツアー催行回数

- 時間毎のツアー催行状況の分布は、大ループ・小ループともに昨年度から大きな変化は見られない。

2) ツアー枠の活用状況

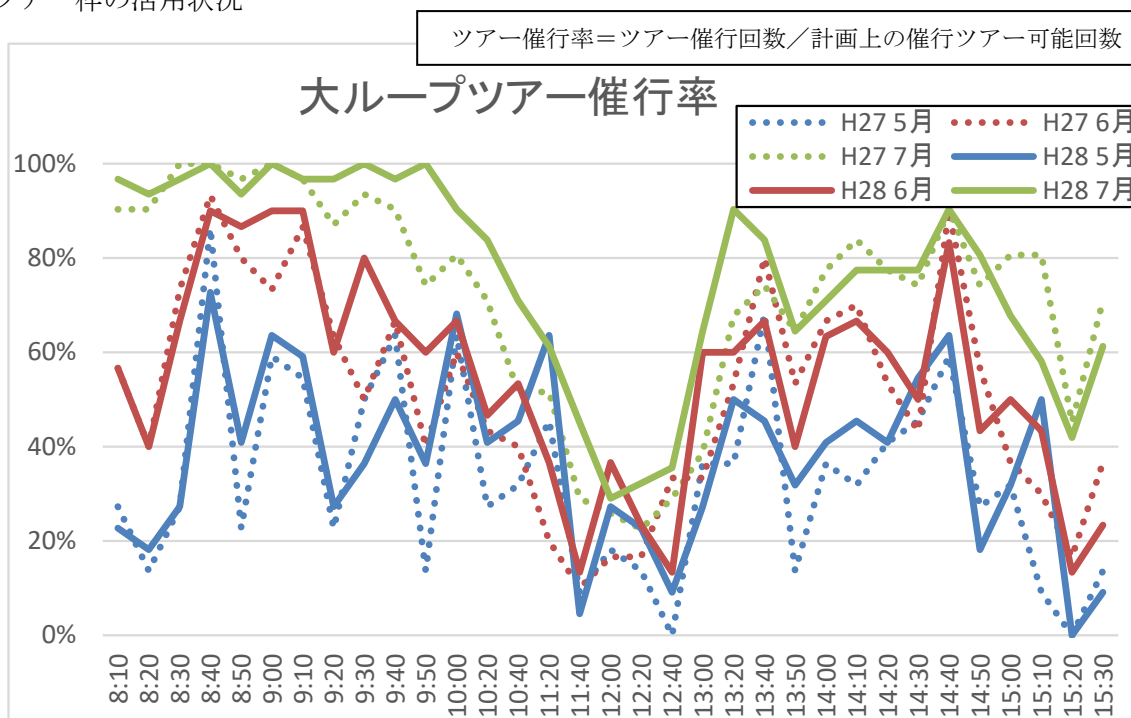


図 4. ツアー枠毎の大ループツアー催行率

- 大ループのツアー催行率の平均は、5月で36.6%（昨年度29.7%）、6月で53%（昨年度45.7%）、7月で74.3%（昨年度64.5%）といずれの月においても昨年度を上回った。
- 時間毎の催行率の傾向は昨年度と変わらない。

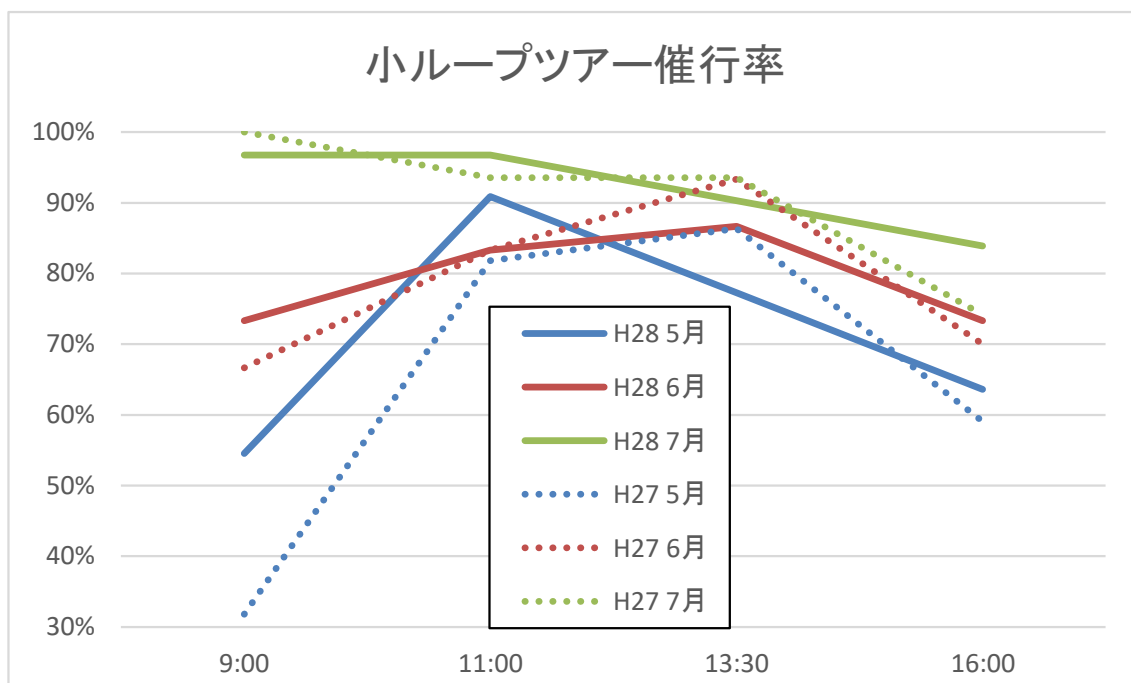


図 5. ツアー枠毎の小ループツアー催行率

- 小ループの催行率の平均は、5月で催行率は71.6%（昨年度64.8%）、6月で79.2%（昨年度78.3%）、7月で91.9%（昨年度90.3%）といずれの月においても昨年度を上回った。

3) 参加方法別実績

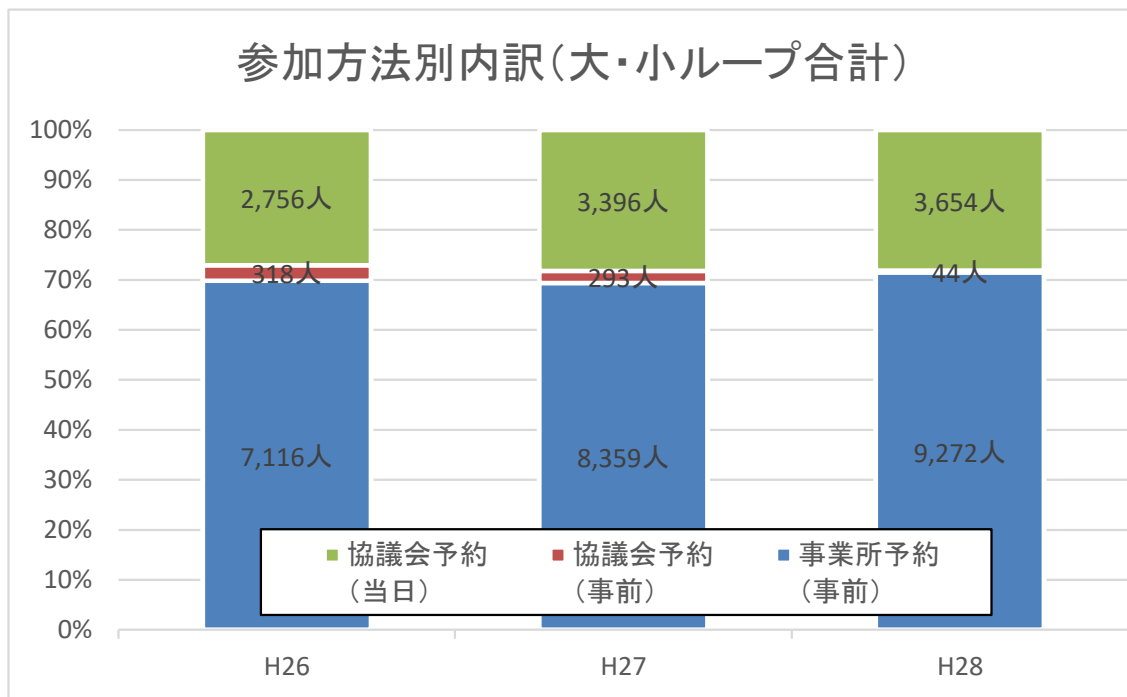


図 6. 両コースの参加方法別内訳

- 両コース合わせた当日受付カウンターでの成約人数は 3,654 人で全体の 28%を占めた(昨年度 28%)

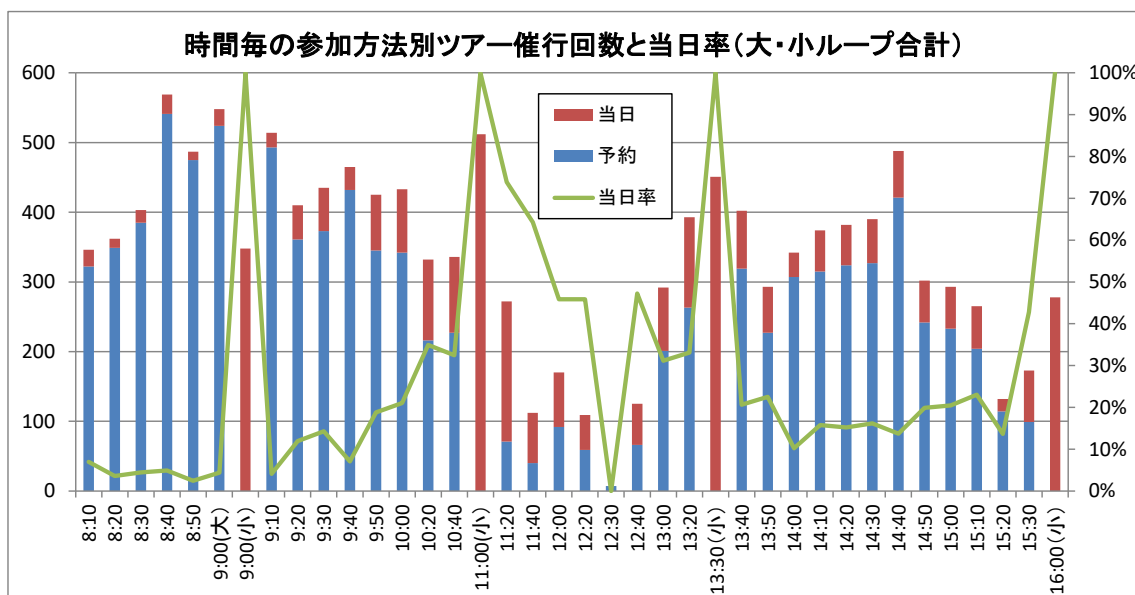


図 7. 両コースの時間毎の参加方法別ツアー催行回数と当日率

- 時間毎では、9 時までの当日率が低く、昼前後の時間帯で高い。
- この傾向は例年通りである。

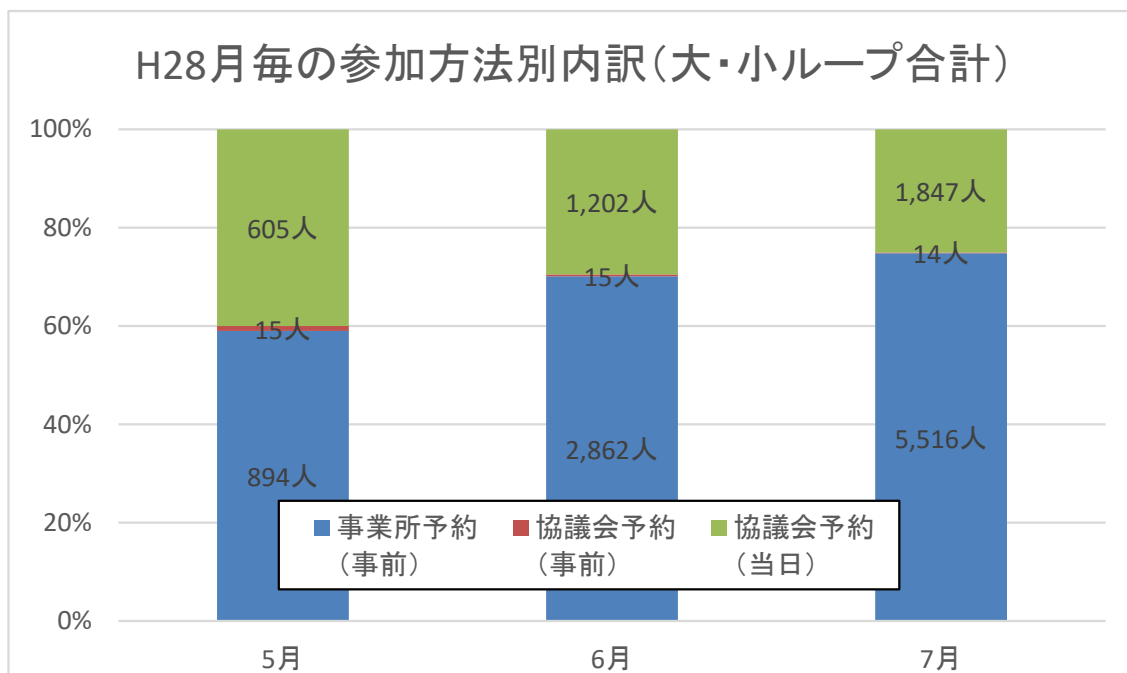


図 8. 月毎の参加方法別内訳

- 月毎の当日受付によるツアー参加率は、5月は40%、6月は29%、7月は25%であった。

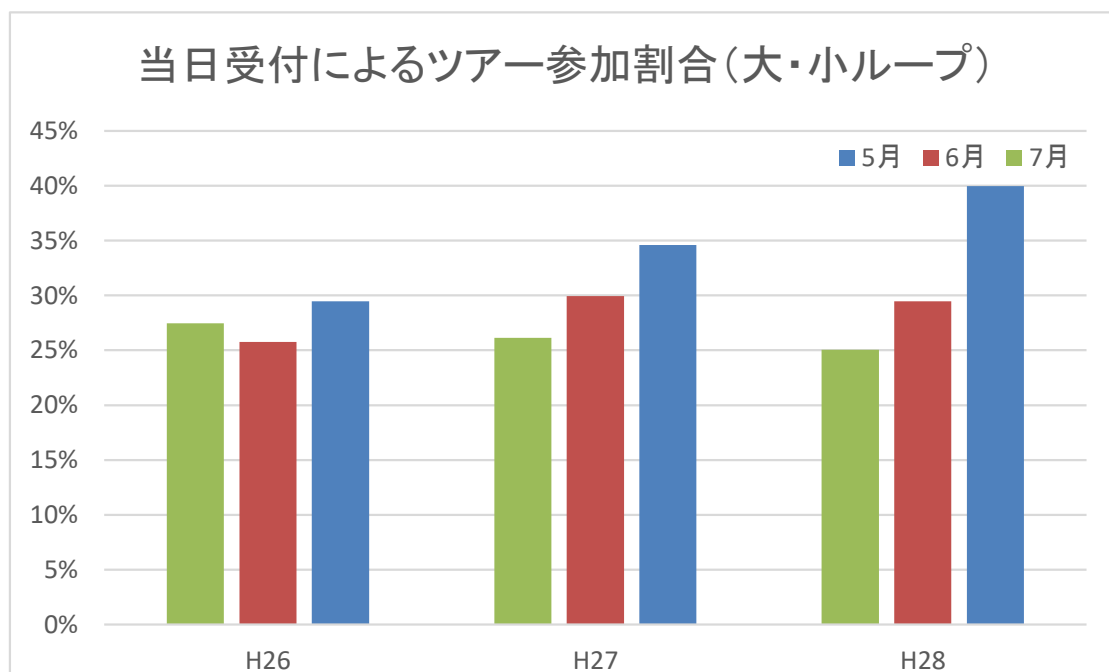


図 9. 両コースの当日受付によるツアー参加割合

- 3年間を比較すると、5月は他の月と比べ、当日受付によるツアー参加率が高い傾向にある。これは、5月は大ループの当番待機ガイド(1名)に加え、自主待機のガイドがいたことで、ツアーの設定が柔軟にできたことが考えられる。

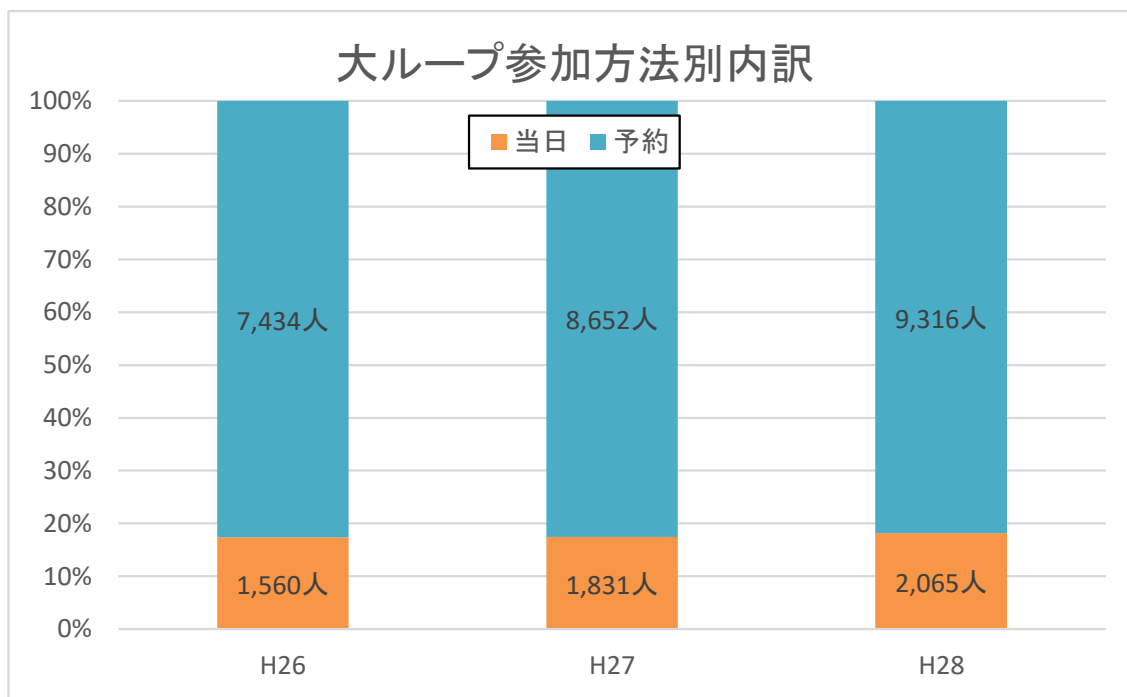


図 10. 大ループツアーの参加方法別内訳

- 大ループの当日受付カウンターでの成約人数は 2,065 人で 18%を占めた（昨年度 17%）。

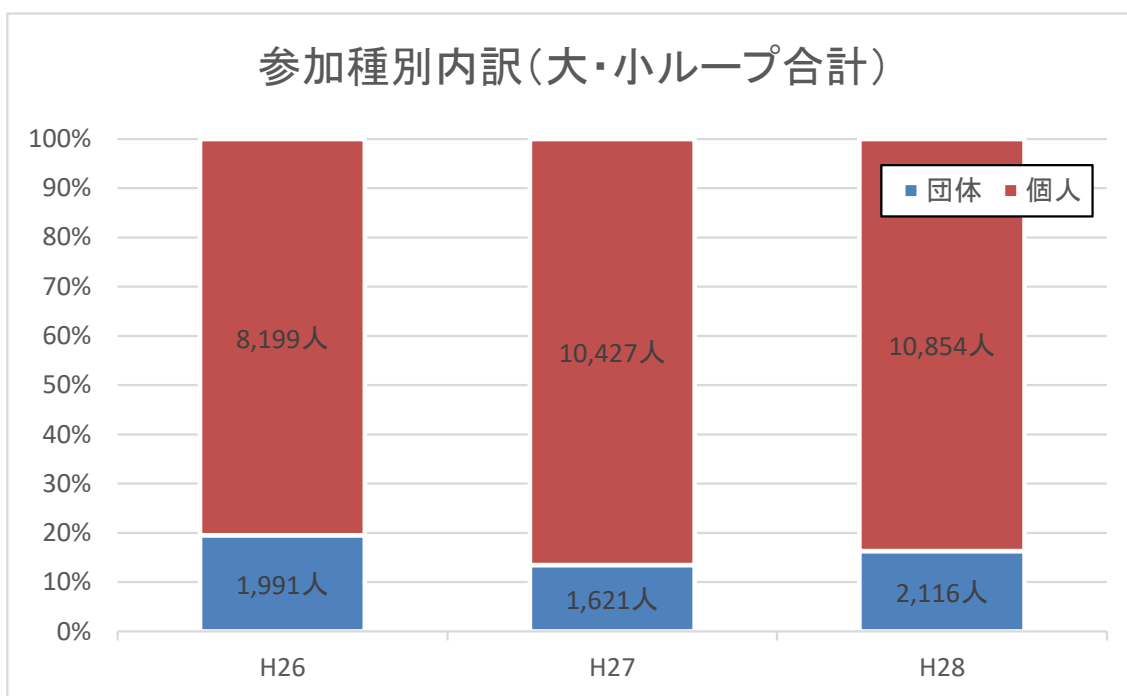


図 11. 両コースの参加種別内訳

- 約 2 割が団体でのツアー参加であった。

4) 外国人の受け入れ

両コース合わせた外国人のツアー参加者数は 2,745 人（昨年度 2,150 人）で 21%を占めた。

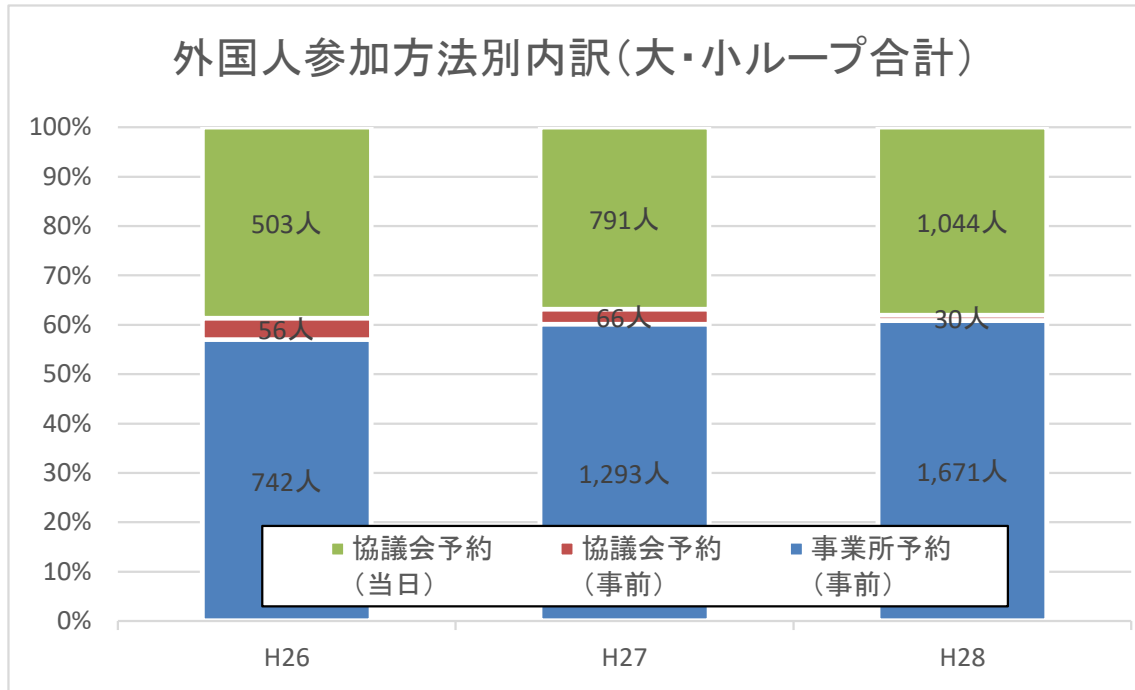


図 12. 両コースの外国人参加方法別内訳

- 外国人の 38%は当日受付によるツアー参加で、日本人よりも割合が高い（全体の当日率 28%）。

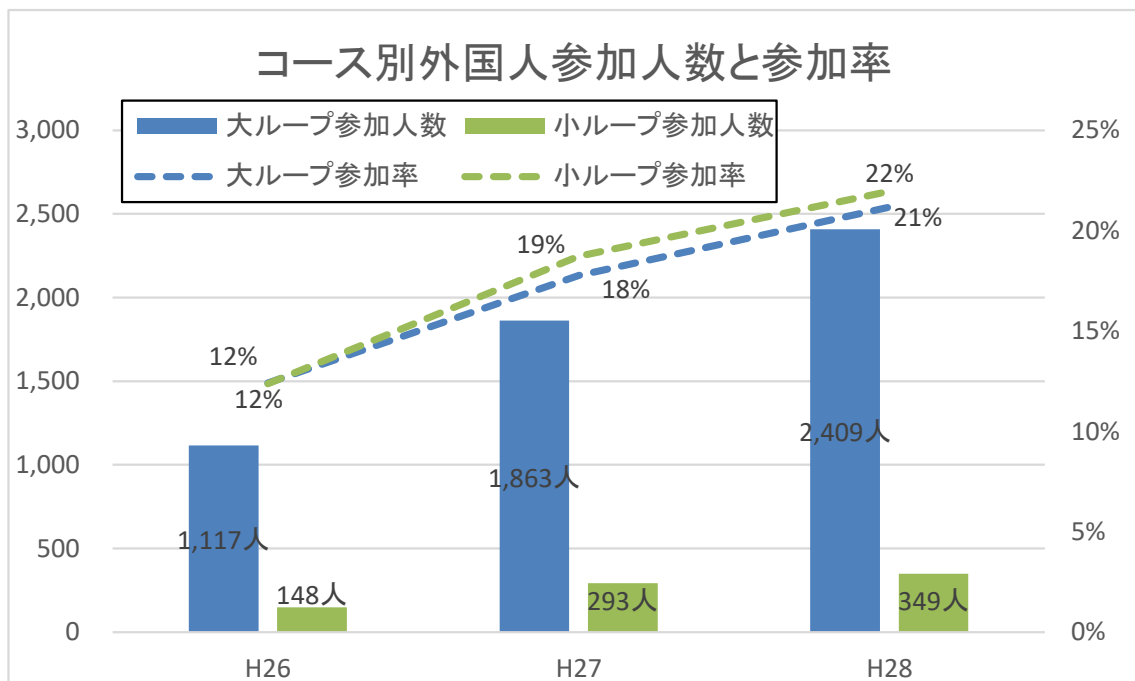


図 13. コース別の外国人参加人数と参加率

- いずれのコースも外国人の参加者数、参加率ともに増加傾向になる。
- いずれのコースも外国人率は 2 割程度で差異は見られない。

5) ヒグマ遭遇時の対応

- 期間中のヒグマ遭遇回数は 46 回（昨年度 44 回）であった。ツアー中止回数は 6 回（昨年度 13 回）で、ツアー継続となる判断が多く見受けられた。
- 短時間での連続遭遇のケースが 7/17 と 7/23 に発生。
- 6/7 にはオスグマから全速力で逃げるメスグマが人に向かってくるといった遭遇事例が発生。
- 月毎の遭遇回数は、5 月は 4 回、6 月は 14 回、7 月は 28 回で、5 月の遭遇回数が少なく、7 月にピークとなる傾向は例年と変わらない。

6) 傷病者対応

期間中、傷病事例やトラブル等は発生しなかった。

7) 荒天時の対応

7/28、暴風のため、10:15～15:15 より高架木道第 1 展望台より先を閉鎖。これに伴い、大ループは S 地点より折り返し、小ループ逆路で退出にルートを変更。13:20 発のツアーからは、通常ルートで運用再開。小ループは 9:00 の回は S 地点より引き返し、11:00・13:30 の回は大ループとの相互共用区間（Q～S 間）での安全確保（ヒグマ）のため、中止。16:00 は通常運用。